

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	観光振興課	職	課長	氏名	良澤 和俊
評価者	組織		職		氏名	

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進	観光入り込み客数	千人	25,000 (H27)	21,632 (H25)	(H26)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1	新ほっと石川観光プランの推進 (3大都市圏誘客1000万人構想の推進)	3大都市圏からの入り込み客数	千人	10,000 (H27)	7,017 (H25)	1: 石川県観光創造会議開催費	観光客全般	1,000			
							2: 国内誘客戦略強化費	観光客全般	1,600			
	3: 石川香川観光パートナーシップ協定推進事業費	観光客全般	2,400									
	隣県からの入り込み客数	千人	3,150 (H27)	2,808 (H25)	(H26)	1: いしかわ観光応援団活動推進事業費	観光客全般	9,100				
2: ふれあいと体験事業費						観光客全般	5,300					
施策1	課題1	体験交流観光の推進	グリーン・ツーリズム参加者	千人	3,150 (H27)	2,808 (H25)	(H26)	再掲: ふれあいと体験事業費	観光客全般	5,300		
	課題2	観光地や温泉地の魅力アップと活性化	観光地入り込み客数	千人	54,886 (H27)	39,564 (H25)	(H26)	1: 観光地活性化推進事業費	市町等	24,320		
								2: いしかわナイトツアー開発支援事業費	観光客全般	2,500		
								3: いしかわスイーツ博開催事業費	観光客全般	15,000		
								4: 温泉地魅力アップ推進事業費	市町等	138,380		
								5: 観光案内サイン整備事業費	観光客全般	10,000		
	課題3	イベント、コンベンションの振興	コンベンション開催・参加者数	件・人	400・96,800 (H27)	401・88834 (H25)	(H26)	1: 戦略的コンベンション誘致推進事業費補助金	コンベンション主催者	5,000		
			観光地入り込み客数	千人	54,886 (H27)	39,564 (H25)	(H26)	2: 金沢城・兼六園四季物語開催事業	観光客全般	11,713		
	課題4	おもてなしの充実	観光地入り込み客数	千人	54,886 (H27)	39,564 (H25)	(H26)	再掲: 観光地活性化推進事業費	市町等	24,320		
	課題5	人材の育成	ボランティアガイド団体・参加者数	団体・人	30・800 (H27)	23・991 (H25)	(H26)	ウェルカムいしかわ推進事業	観光事業者、一般県民	5,500		
課題6	効果的な情報発信	観光地入り込み客数	千人	54,886 (H27)	39,564 (H25)	(H26)	1: ほっと石川観光キャンペーン事業費	3大都市圏等観光客、旅行業	53,050			
							2: 旬のいしかわネット配信事業費	観光客全般	6,000			
							3: 関西・中京圏誘客促進事業	観光客全般	3,000			
		3大都市圏からの入り込み客数	千人	10,000 (H27)	7,017 (H25)	(H26)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	石川県観光創造会議開催費	事業開始年度	H17	事業終了予定年度	
		根拠法令	新ほっと石川観光プラン		
		・計画等			

作	組	織	観光振興課		
成	職	氏名	専門員 土田 ちえ子		
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1127 内線 3918

事業の背景・目的

観光施策の指針となる「新ほっと石川観光プラン」の推進にあたって、高い識見をお持ちの各界各層の方々から新しい時代の観光振興政策に対する大所高所からのご提案をいただき「石川県観光創造会議」を開催し、その提案を活かした新しい時代にふさわしい観光振興策を展開する。

事業の概要

I 石川県観光創造会議

1. 会議の構成

- (1) 委員数 20人
- (2) 構成 各分野の第一人者（交通、国際、観光、芸術・文化、食、海外誘客など）
- (3) その他 委員のほか、特別顧問（石川県観光大使）として、仲代達矢氏など14名が就任

2. 役割

- (1) 北陸新幹線開通を見据えて、新しい観光のあり方等への提案
 - ・国内外からの入り込み客数の目標達成に向けた誘客方策
 - ・石川の魅力、個性、印象など観光石川のブランド創出に向けた方策
- (2) 本県の観光応援団としてのPR的機能を発揮

II 観光総合プロデューサーの設置

- 1. 目的 観光プランを総合的に推進するため、全体にわたって企画等の指導、助言をするプロデューサーを配置し、プラン推進の原動力の役割を担うこととする。
- 2. 観光総合プロデューサー 早川 和良氏（CMプロデューサー）

施策・課題の状況

施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
指標	3大都市圏からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
10,000	7,268	6,969	6,832	7,017			
指標	隣県からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
3,150	2,605	2,607	2,576	2,808			

事業費

(単位: 千円)		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算	1,750	1,500	1,500	1,500	1,000
	決算	1,750	1,500	1,500	1,500	
一般財源	予算	1,750	1,500	1,500	1,500	1,000
	決算	1,750	1,500	1,500	1,500	
事業費累計		10,845	12,345	13,845	15,345	16,345

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	国内誘客戦略強化費	事業開始年度:	H25	事業終了予定年度:		作 組 織 : 観光振興課
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン			成 職・氏名 : 専門員 小林 満美子
						者 電話番号 : 076 - 225 - 1539 内線 3921

1 目 的

新ほっと石川観光プランに掲げる、「首都圏誘客500万人構想」、「三大都市圏1000万人構想」の実現を図るため、旅行商品造成や、MICEや修学旅行の誘致など、それぞれの分野により戦略的な事業展開を強化していく必要がある。このため、それぞれの分野において人脈や経験が豊富で情報に精通している方をアドバイザーに委嘱し、具体的な助言をいただきながら戦略的な国内誘客を展開していく。

2 事業内容

国内誘客について、それぞれの分野に精通した方々を「国内誘客戦略アドバイザー」として委嘱

(1)委嘱数 8名程度

(2)分 野 ①誘客戦略(旅行商品づくり)

アドバイザー例:交通事業関係者
旅行会社関係者 など

活 用 例:顧客ニーズの聞き取り
→ニーズに対応した旅行素材に磨き上げ、旅行会社に売り込み

②MICE・修学旅行の誘致

<MICE>

アドバイザー例:国際会議の専門業者 など
活 用 例:MICE主催者が求める要望を聞き取り
→具体的な企画提案に反映

<修学旅行>

アドバイザー例:修学旅行の業界団体 など
活 用 例:学校誘致に効果的な情報を聞き取り
→具体的な企画提案に反映
学校長を対象とした修学旅行の研究集会の情報
→研究集会に参加しPR

3 県負担金

1,600千円

施策・課題の状況

施策	三大都市圏誘客1,000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価
課題	新ほっと石川観光プランの推進					
	指標	三大都市圏からの入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	10,000	7,268	6,969	6,832	7,017	

事業費

(単位:千円)		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算				2,000	1,600
	決算				2,000	
一般	予算				2,000	1,600
	決算				2,000	
事業費累計					2,000	3,600

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性		
今後の方向性		

これまでの見直し状況

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 石川香川観光パートナーシップ協定推進事業費	事業開始年度	H24	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	STEP21		

作	組	織	観光振興課		
成	職・氏名	主事 釣谷 俊介			
者	電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3921			

<事業の背景・目的>
 全国では初めてとなる香川県との観光パートナーシップ協定に基づき、平成24年度は関西圏、平成25年度は首都圏で合同観光PRイベントを実施し、三大都市圏誘客1,000万人構想の実現を図っているところである。

今年度末の北陸新幹線金沢開業を迎えるにあたっては、開業直前時期には首都圏からの旅行控えが予測されていることを踏まえ、本県及び香川県ともに誘客のターゲットエリアである中京圏での合同PRイベントにおいて、互いに共通する観光資源を対比させたPR等を実施することで、本県の観光資源の魅力を最大限に引き出した観光PRを展開する。

<事業の概要>
 ○中京圏での合同観光キャンペーン(10～11月頃)
 イオンなど大型商業施設を活用した観光PRを実施するとともに、県産食材を使った食の販売や物産品の展示・販売等を行う。

(1) 観光PR
 ○特設ステージ
 金沢芸妓の舞、ミス加賀友禅、金沢百万石武将隊、ひやくまんさん 等
 ○ブース・展示
 石川・香川合同ブース、金沢・高松合同ブース、伝統的工芸品の展示

(2) 県産品PR・販売
 農林水産物・特産品の販売、近江町市場カニ汁、揚げ浜むすび、呈茶コーナー

<県負担金>
 2,400千円

これまでの見直し状況

施策・課題の状況							
施策	三大都市圏誘客1,000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
	指標	現状値				単位	千人
	目標値						
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	10,000	7,268	6,969	6,832	7,017		
事業費							
	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	予算			4,800	3,000	2,400	
	決算			4,800	3,000		
一般	予算			4,800	3,000	2,400	
	決算			4,800	3,000		
財源	事業費累計			4,800	7,800	10,200	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性							
今後の方向性							

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわ観光応援団活動推進事業費	事業開始年度 H19	事業終了予定年度	作 組 織 観光振興課 成 職・氏名 主任主事 嘉門佳頭 者 電話番号 076 - 225 - 1127 内線 3923
	根拠法令・計画等	新ほっと石川観光プラン	

◎事業の背景・目的

北陸新幹線の金沢開業を見据え、首都圏をはじめ全国に向け石川の魅力や観光情報を発信するため、口コミによりPRいただける方を、「いしかわ観光特使」として委嘱しているところであるが、加えて、首都圏に向けた開業PRを一層推進していくため、石川県人会をはじめとする本県ゆかりの首都圏在住者と協働して取り組むことが大変重要である。本事業では、特使の情報発信や誘客活動をサポートするとともに、特使や県人会をはじめとする県ゆかりの首都圏在住者の方々と一体となって、気運を盛り上げ、情報発信の強化を図る。

◎事業の概要

1 県人会等協働PR推進事業

いしかわ百万石の集いの充実・強化を図り、首都圏在住の方々の気運を盛り上げることで、情報発信力を強化。

(1) いしかわ百万石の集いの開催

- 首都圏の県人会等と協力し、家族、知人も参加できるオープンな交流イベントを開催
- ・イベント構成: 第1部 県政報告、第2部 交流イベント
- ・イベント内容: 拡 県人会等と協力した飲食・物販・PRブース出展、ステージイベント 他

(2) その他

- ・日本橋・京橋祭りへの参加(ファンド事業)

2 いしかわ観光特使ネットワーク推進事業

特使の資質を維持向上するため、特使の活動サポートを継続する。

(1) 交流会・出前講座の開催

- ・交流・情報交換の場を提供し特使活動の活性化を促すとともに、旬の観光情報の講座を開催
- ・開催場所: 交流会・出前講座3地区(関西、中京、県内)

(2) 研修旅行の実施

- 実際に訪れて体験したことなどをPRに活用するため、県内施設やスポット等の見学ツアーを実施
- ・テーマ別研修、県外からの参加者に配慮した1泊2日ツアーの開催(定員40人程度)

(3) 活動サポートグッズの作成

- ・新特使名刺 …… 全員に配布(200枚/人)
- ・観光PRグッズ …… 情報発信のツールとして活用していただくためのグッズを作成・配布

(4) 観光情報の提供

- ・「いしかわ観光特使事務局通信」のメール配信 …… 定期的送付(月2回程度)
- ・パンフレット送付 …… 定期的送付(年4回)
- ・ホームページ …… 特使の活動報告、協力施設のイベント情報など特使のための情報発信

施策・課題の状況

施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価
課題	新ほっと石川観光プランの推進					
指標	3大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
10,000	7,268	6,969	6,832	7,017		
指標	隣県からの入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
3,150	2,605	2,607	2,576	2,808		

事業費

(単位:千円)		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算	7,000	5,500	5,500	9,100	9,100
	決算	7,000	5,500	5,500	9,100	
一般	予算	7,000	5,500	5,500	9,100	9,100
財源	決算	7,000	5,500	5,500	9,100	
事業費累計		13,000	18,500	24,000	33,100	42,200

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ふれあいと体験の旅事業費	事業開始年度	H19	事業終了予定年度	
	根拠法令	新ほっと石川観光プラン		
	計画等			

作成者	組織	観光振興課			
	職・氏名	専門員 村濱 美千代			
	電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3918			

1	目的	<p>旅行の魅力あるあでつとひの「人いあれふのと」に焦点のムラグロブたてあを充実や情報発信等を行い、本県のへ旅行意欲を喚起にもととるす、実際に体験をムラグロブ通やドイガてじ地元の人をりがなつのと深でとこうらもてめ、旅行後の継続的な交流の促進を図る。</p>
2	事業内容	<p>(1) 利用者の拡大に向けた戦略的な情報発信の継続 <課題> 全ての観光旅行において、継続した戦略的な情報発信が必要。 → ・大手旅行予約のでトイサ情報発信 ・大都市圏在住の本県のりかゆ人、及のそび家族、友人にどな継続的チーロッパな</p> <p>(2) 体験のムラグロブ更るな掘り起とし磨き上げ <課題> 教育旅行シーリグてしとめじはを・のムズリーツ需要が高らかとこるいてつま、受け入れ態勢るならさの拡充と整備が必要 → 農家民宿体験講座の開催、市町のと連携プッアユシッラブのムラグロブるよに どな</p> <p>(3) 産業観光の一層の推進 <課題> 全国産業観光ムラーオフinつまこ」の開催を一過性に終くなとこるせらわ一層の推進が必要 → ・産業観光研究会ので分科会実施 ・分科会のスーコルデモにとご策定 ・先進地視察 どな</p>

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
指標	3大都市圏からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
10,000	7,268	6,969	6,832	7,017			
指標	隣県からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
3,150	2,605	2,607	2,576	2,808			
事業費							
(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
事業費 予算	4,960	5,500	6,000	8,000	5,300		
事業費 決算	3,763	4,633	5,252	7,284			
一般 予算	1,900	2,900	3,400	5,400	2,700		
財源 決算	1,900	2,900	3,400	5,400			
事業費累計	4,960	9,593	14,845	22,129	27,429		
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性							
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)							
今後の方向性							
(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)							

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	観光地活性化推進事業	事業開始年度	H20	事業終了予定年度		作 組 織	観光振興課
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン			成 職・氏名	主事 山田 悟司
						者 電話番号	076 - 225 - 1538 内線 3928

(事業の背景・目的)
 温泉地に代表される主要観光地等の活性化を図るため、県の「新ほっと石川観光プラン」を踏まえ、各観光協会、広域観光協会等が実施するハード・ソフト事業に対し、支援を行う。

(事業の概要)
 観光地ブランド化推進支援事業 県負担金 24,320千円

1 観光地ブランド化推進事業(ソフト事業)

(1) 対象事業

- 観光地の活性化を図るため、市町が策定した観光振興計画に基づき新たな観光資源の掘り起こしや地域の個性を活かした観光地づくりなどのブランド化を図るソフト事業に対する支援
 事業例：観光資源のブランド化、個性あるイベントの実施など
- 外国人観光客の受入整備に係るソフト事業に対する支援
 事業例：外国人観光客に対応したパンフレットの作成、総合案内サインの整備、人材育成など

(2) 交付先：市町

(3) 経費負担：県1/3(上限4,000千円/温泉地等)、市町1/3、実施主体(観光協会等)1/3

2 観光地広域連携推進事業

(1) 対象事業

- 広域的に観光地の魅力を高めるための受入整備や集客力・利便性の向上を図るソフト事業に対する支援

(2) 交付先：広域観光協会

(3) 経費負担：県 1/3(上限5,000千円/協会)、実施主体(広域観光協会) 2/3

3 観光地活性化整備事業(ハード事業) 平成26年度は要求なし

(1) 対象事業

- 各市町が策定した計画に基づき、観光客の利便性向上や観光地の魅力をアップするためのハード事業に対する支援
 事業例：案内看板の整備、駐車場の整備など

(2) 交付先：各市町(総湯等温泉施設の事業主体が総湯管理団体の場合は、総湯管理団体)

(3) 補助率、補助限度額

- ①補助率：事業費×(1-地元負担1/10)×1/4以内
- ②補助限度額：10,000千円(事業費10,000千円以下の事業は、補助対象外とする。)

(これまでの見直し状況)

H17：「個性豊かな温泉地まちづくり推進事業費補助金」、「温泉地街並み等修景整備促進事業費補助金」、「快適観光空間整備促進事業費補助金」を廃止。「観光地等再生計画策定支援事業費補助金」を統合
 「観光地魅力創出整備事業」、「観光地魅力創出推進事業」、「ユニバーサルデザイン推進事業」創設

H19：「観光地魅力創出整備事業」、「観光地魅力創出推進事業」、「ユニバーサルデザイン推進事業」廃止

H24：事務費削減1,800千円

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化					
	指標	観光地の入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	54,886	41,033	40,003	39,415	39,564	
事業費						
	(単位：千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算	26,120	26,120	24,320	24,320	24,320
	決算	26,120	26,120	24,320	24,320	24,320
一般財源	予算	26,120	26,120	24,320	24,320	24,320
	決算	26,120	26,120	24,320	24,320	24,320
事業費累計		77,170	103,290	127,610	151,930	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
今後の方向性						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわナイトツアー首都圏誘客事業費	事業開始年度	H22	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン		

作	組	織	観光振興課		
成	職	氏名	専門員 村濱 美千代		
者	電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3925			

1 目的
北陸新幹線金沢開業により、本県と首都圏が2時間半で結ばれることは誘客拡大のチャンスである一方、日帰り客の増加が懸念されることから、宿泊しなければ体験できない夜の観光資源の掘り起こしを行うとともに、これまでに掘り起こし、まとめた観光素材を首都圏等に情報発信を行い誘客の拡大を図る。

2 事業内容
情報発信の強化による、観光資源の定着・誘客
 (1) 旅行会社向け： H25年度に作成した素材集を中心に情報発信
 ・各種旅行商談会、東京事務所等を通じて情報を発信
 (2) 個人向け：自ら旅行先を決める個人向けに季節・地域ごとに分類し発信
 ・ホームページやスマートフォンを通じて旅行素材を発信
 ・観光情報センターでの情報提供 など
 (3) 受入体制の整備
 夜の観光素材について地元ホテル、旅館、観光情報センター、交通事業者等との情報共有や旅行商品のパンフレットを配置することにより、観光客のニーズに答えられよう受入体制の整備を図る。

3 県負担額 2,500千円

4 交付先 公益社団法人 石川県観光連盟

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化					
	指標	観光地の入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	54,886	41,033	40,003	39,415	39,564	
事業費						
	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算	2,000	1,500	4,000	4,000	2,500
	決算	2,000	1,500	4,000	4,000	2,500
一般財源	予算	2,000	1,500	4,000	4,000	2,500
	決算	2,000	1,500	4,000	4,000	2,500
事業費累計		2,000	3,500	7,500	11,500	14,000
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
今後の方向性						

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	いしかわスイーツ博開催事業費	事業開始年度:	H24	事業終了予定年度:	H27	作組 織: 観光振興課 成職・氏名: 主任主事 伊藤 江梨 者電話番号: 076 - 225 - 1542 内線 3925
		根拠法令・計画等	STEP21			

【事業の背景・目的】

北陸新幹線開業に向け、本県の魅力である食をテーマにしたイベントを継続的に実施することで、交流拡大の機運を盛り上げる必要があることから、女性等に人気の高いスイーツをテーマにしたイベントを開催し、菓子（スイーツ）どころ石川をアピールすることで、本県への観光客増大を図るとともに、県内菓子業界の発展を目指す。

【事業の概要】

- 1 主催 (社)石川県観光連盟、石川県
- 2 協力 地元洋菓子、和菓子関係団体
- 3 内容 いしかわスイーツ博2014の開催
 - (1)第3回いしかわスイーツコンテスト
 - ①応募資格 全国の製菓学校に所属する学生
 - ②表 彰 いしかわスイーツ知事大賞1チーム、準大賞1チーム、部門賞3チーム
 - ③スケジュール 3月頃：プロモーション開始
4月頃：募集開始
8月中旬：一次審査(書類審査)
10月下旬：決勝実技審査
 - (2)いしかわスイーツフェア2014等の開催
 - ①実施時期 平成26年10月18日(土)～10月19日(日)
 - ②内 容 <いしかわスイーツフェア2014>
しいのき迎賓館を会場に、県内の和洋菓子店に加え、県外有名店が菓子処いしかわに集結
<スイーツコンテスト最終審査>
スーパースイーツ製菓専門学校を会場に、一次審査を通過した5チームによる最終実技審査を実施
<協賛イベントほか>
市内ホテル、和洋菓子店でのオリジナルスイーツ販売、観光地等でのスイーツ茶会を実施予定
- 4 総事業費 24,500千円（県負担金15,000千円、市町等9,500千円）
- 5 交付先 (公社)石川県観光連盟

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化					
	指標	観光地の入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	54,886	41,033	40,003	39,415	39,564	

事業費						
	(単位：千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算			15,000	15,000	15,000
	決算			15,000	15,000	
一般財源	予算			15,000	15,000	15,000
	決算			15,000	15,000	
事業費累計			0	15,000	30,000	45,000

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性		
今後の方向性		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	温泉地魅力アップ推進事業費	事業開始年度	H25	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン		

作	組	織	観光振興課		
成	職	氏名	専門員 岡田 みゆき		
者	電話番号	076 - 225 - 1538 内線 3928			

1 事業の目的

北陸新幹線金沢開業を見据え、開業効果を金沢のみならず、加賀、能登全域に波及させ、さらには、観光客にご満足いただくことでリピーター化を促すため、温泉地の魅力向上につながる温泉旅館の施設整備を促進する。

2 内 容

市町と温泉地とが一体となって取り組む、街並み景観に調和した外観整備、伝統工芸を活用した施設改修、ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備といった温泉旅館の前向きで付加価値が向上する積極的な施設整備に対して支援を行う。

○補助対象事業例

(1) <まちづくり>

温泉地の街並み景観に調和した建物外観整備(周辺の温泉風情に調和した外壁整備等)

(2) <地域振興>

石川の文化の活用(伝統工芸や伝統文化を紹介するギャラリー設置等)

(3) <ユニバーサルデザイン>

すべての人が利用しやすい宿泊施設内改修(ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備)

○補助対象者 石川県観光連盟加盟の温泉観光協会等に所属する県内の温泉旅館

○補助対象経費 15,000千円以内

(県1/3、市町1/3、温泉旅館(実施主体)1/3)

○補助金額

1件あたり 5,000千円以内

○事業実施期間 H25、H26年度

3 県負担金 H25: 41,023千円

H26: 138,380千円

合計: 179,403千円(全額観光連盟基金を取り崩して実施)

施策・課題の状況

施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化						
	指標	観光地の入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	54,886	41,033	40,003	39,415	39,564		

事業費

(単位:千円)		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算				50,000	138,380
	決算				41,023	
一般財源	予算					
	決算					
事業費累計					41,023	179,403

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性		
今後の方向性		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 観光案内サイン整備事業費	事業開始年度	H25	事業終了予定年度		
	根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン			
			作 組 織	観光振興課	
			成 職・氏名	専門員 岡田 みゆき	
			者 電話番号	076 - 225 - 1538 内線 3928	

1 背景

本県の観光案内サインは平成6年から平成16年に整備され、現在351箇所となっているが北陸新幹線金沢

開業を控え、本県では道路整備が進んでいるほか、能登有料道路無料化など観光を取り巻く環境の大きな

変化により県内外からの観光客の増加が見込まれる。

<主な要因>

- ・北陸新幹線金沢開業
- ・能越自動車道七尾氷見道路全線開通(平成26年度中)
- ・能登有料道路の無料化
- ・南加賀道路や白山ICの開通などの道路整備

2 対応

北陸新幹線金沢開業を見据え、新たな道路整備への対応、無料化される県内有料道路沿線観光地への拡充、県内重要伝統的建造物群保存地区等の表示など、県内観光資源への一体的かつ連続的なサインを平成26年度末までに整備する。

3 事業内容

○平成25年度 のと里山海道で道路標識に加えて観光案内サインを整備
 新たな道路の開通による不足分の整備
 重要伝統的建造物群保存地区の新規整備

○平成26年度 国土交通省の標識令改正による英語標識の修正
 白山スーパー林道の名称変更による表示の修正

4 県負担金 平成25年 91,500千円 N=31箇所
 平成26年 10,000千円 N=30箇所程度(標記修正等)

施策・課題の状況

施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進	評価
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化	
	指標	単位
	観光地の入り込み客数	千人
	目標値	現状値
	平成27年度	平成22年度
	平成23年度	平成24年度
	平成25年度	平成26年度
	54,886	41,033
	40,003	39,415
	39,564	

事業費

(単位:千円)		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算				100,000	10,000
	決算				91,500	
一般 財源	予算				25,000	10,000
	決算				22,000	
事業費累計			0	0	91,500	101,500

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性		
今後の方向性		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	戦略的コンベンション誘致推進事業費補助金	事業開始年度	S63	事業終了予定年度	
		根拠法令	新ほっと石川観光プラン		
		計画等			

作	組	織	観光振興課		
成	職	氏名	専門員 小林 満美子		
者	電	話	番	号	
			076	-	225 - 1539 内線 3921

事業の背景・目的
 学会等の誘致を促進するために、(公財)金沢コンベンションビューローが実施する各種PR活動を支援し、地域経済の活性化を図る。

- 事業の概要**
- 1 コンベンション都市推進事業
 - ・国際コンベンションの情報収集、キーパーソン招聘など、日本政府観光局マーケティング事業を活用
 - 2 コンベンション都市広報事業費
 - ・東京で開催される国際ミーティング・エキスポに参加するほか、より多くの開催決定者との商談を行う
 - 3 コンベンション活性化推進事業
 - (1) 着地型情報提供事業
 - ・コンベンション参加者にとって利便性が高く、持ち運びやすいサイズのガイド冊子として「コンベンションナビ2014」を作成し、街中の回遊性向上や消費拡大につなげる着地情報として配布・提供する。
 - (2) インターネット等情報端末発信事業
 - ・コンベンション主催者及び参加者に対し、注目度を高めるホームページを展開するほか、スマートフォンなど携帯端末からの情報収集を可能にする。
 - (3) 接遇スキルアップセミナー開催事業
 - ・当地でのコンベンション開催時に顧客満足をこれまで以上に高めるため、サプライヤーである賛助会員向けに多種多様な要望におもてなしの心で即応出来る人材を育成するセミナーを開催する。
 - (4) 加賀・能登ランチ活性化事業
 - ・加賀及び能登に各ランチを設置し、県下全域にコンベンション事業を浸透、普及させ、速やかに誘致・支援・受入を図るための活動をする。
 - 4 MICE推進事業

MICE誘致・展開事業

 - ・国際学会等の誘致を積極的に進めるため、韓国及び東南アジアをターゲットに商談会や展示会等の参加、ファームトリップ・インセンティブ招請受入事業を実施し、石川・金沢の魅力を積極的にアピールしていく。

これまでの見直し状況
 平成12年に加賀・能登ランチを小松・七尾商工会議所内に開設し、コンベンションの県下全域対応ができるよう、組織強化を図った。

施策・課題の状況

施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価
課題	イベント、コンベンションの振興					
指標	コンベンション開催・参加者数				単位	件・人
目標値	現状値					
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	400	353	362	393	401	
	96,800	75,575	73,999	93,112	88,834	

事業費						
	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算	4,952	4,952	5,000	5,000	5,000
	決算	4,952	4,952	5,000	5,000	5,000
一般	予算	4,952	4,952	5,000	5,000	5,000
財源	決算	4,952	4,952	5,000	5,000	
事業費累計		105,914	110,866	115,866	120,866	125,866

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性		
今後の方向性		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名「金沢城・兼六園四季物語」開催事業費	事業開始年度: H14	事業終了予定年度:
	根拠法令・計画等	新ほっと石川観光プラン

作	組	織	観光振興課
成	職・氏名	主事	高 慎太郎
者	電話番号	076 - 225 - 1542	内線 3930

事業の背景・目的

石川らしい観光地づくりを目指し、観光資源の多様な活用により、観光地の活性化を図るため、金沢城公園や兼六園などを舞台に新しい観光の魅力を演出するイベント等を四季を通じて開催し、観光石川の魅力を県内外にアピールすることで、本県のイメージアップと観光誘客の促進を図る。

事業の概要

1. **金沢城イベント**……四季折々の金沢城の魅力を、音と光で演出するイベント
 《金沢城フェスティバル》 平成26年6月上旬
2. **金沢城・兼六園ライトアップ**……雰囲気異なる金沢城・兼六園の特徴を活かしたライトアップイベント
 《初夏の段》 平成26年 6月上旬
 《秋の段》 平成26年10月中旬

 《冬の段》 平成27年 1月下旬～2月上旬
 《春の特別開催》 平成27年 3月中旬

負担金交付先: 石川の四季観光キャンペーン実行委員会(会長: 石川県観光戦略推進部長)
 事業規模: 23,426千円 (県負担 11,713千円 金沢市負担 11,713千円)

これまでの見直し状況

平成11年度に、それぞれの事業毎に実行委員会を組織していたものを一本化し、「石川の四季観光キャンペーン実行委員会」として、年間を通じて事業を実施している。

施策・課題の状況

施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進	評価	
課題	イベント、コンベンションの振興		
指標	観光地の入り込み客数	単位	件・人
目標値	現状値		
平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
54,886	41,033	40,003	39,415
			平成25年度
			39,564
			平成26年度

事業費

(単位: 千円)		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算	10,240	10,427	9,082	8,729	11,713
	決算	10,240	10,427	9,082	10,662	
一般	予算	10,240	10,427	9,082	8,729	11,713
	決算	10,240	10,427	9,082	10,662	
財源	事業費累計	73,280	83,707	92,789	101,518	113,231

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性		
今後の方向性		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ウェルカムいしかわ推進事業費	事業開始年度	H22	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	STEP21		

作	組	織	観光振興課		
成	職	氏名	主任主事 正木 康子		
者	電話番号	076 - 225 - 1538 内線 3929			

<p>1 目的</p> <p>北陸新幹線金沢開業を見据え、県民総ぐるみで「おもてなし」向上に向けた取り組みを推進するため、裾野の拡大を図るとともに、最後の総仕上げとして「おもてなし」の実践を後押しする。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1)「ほっと石川おもてなし推進協議会」の開催 (300千円) 各業界での課題や取組状況などの意見交換、全県的なおもてなし向上に向けた取組の推進等</p> <p>(2)「(拡)「おもてなし宣言いしかわ大会」の開催 (2, 800千円) これまでの県内各地域・各団体の活動内容の発表や今後の活動の決意表明として「おもてなし宣言」を行う。</p> <p>(3)「おもてなし宣言集」の作成 (500千円) 各地域・各団体が行った宣言を旅ねっとで公開し、取組の輪を広げる。</p> <p>(4)「観光おもてなし塾」の開催 (1, 300千円) 観光関係団体の人材育成担当者のスキルアップを図る研修会を実施</p> <p>(5)「おもてなし講座」の開催 (600千円) 県民がおもてなしについて考えるきっかけづくりとして、企業や地域の集会などに無料で講師を派遣し、講座を実施</p> <p>3 県負担金</p> <p>5, 500千円</p>

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1,000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価
課題	人材の育成					
指標	ボランティアガイド団体・参加者数				単位	団体・人
目標値	現状値					
平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
30団体:800人	25団体:836人	25団体:836人	27団体:882人	23団体:991人		
事業費						
(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	予算	5,000	4,100	8,300	6,300	5,500
	決算	5,000	4,100	8,300	4,300	
一般財源	予算	5,000	4,100	8,300	6,300	5,500
	決算	5,000	4,100	8,300	4,300	
事業費累計	5,000	9,100	17,400	23,700	29,200	
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
今後の方向性						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名: ほっと石川観光キャンペーン事業費	事業開始年度: H6	事業終了予定年度:	作成者: 組織: 観光振興課 職・氏名: 主事 中島 光裕 電話番号: 076 - 225 - 1539 内線 3922
	根拠法令・計画等	新ほっと石川観光プラン	

事業の背景・目的
北陸新幹線金沢開業を見据え、アクションプラン「STEP21」の重点プロジェクトや交通インフラの積極的活用、温泉旅館等の活性化支援を推進するとともに、多様化する旅行者のニーズに対応した情報発信や、テーマを絞った情報発信、特定機関を対象とした誘客促進などを行うことにより、「新ほっと石川観光プラン」に掲げた3大都市圏誘客1,000万人構想の実現を目指す。

事業の概要

1. 情報発信事業

1-1 認知度の向上

(1) マスメディアを活用した情報発信
雑誌、新聞等各種メディアとタイアップした事業を実施

(2) 地域を限定しない効果的な情報発信
OEK情報発信、など

2. 受地取組事業

観光地の魅力創出

(1) JRタイアップキャンペーンによる期間限定イベントの実施

(2) 着地型旅行の推進
百万石風情の旅

交付先: 公益社団法人石川県観光連盟

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	
課題	効果的な情報発信						
	指標	観光地の入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	54,886	41,033	40,003	39,415	39,564		
事業費							
	(単位: 千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	予算	74,150	55,850	47,980	53,390	53,050	
	決算	74,150	55,850	47,980	53,390	53,390	
一般財源	予算	74,150	55,850	47,980	53,390	53,050	
	決算	74,150	55,850	47,980	53,390	53,390	
事業費累計		360,325	416,175	464,155	517,545	570,595	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性							
今後の方向性							

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 旬のいしかわネット配信事業	事業開始年度: H24	事業終了予定年度:	作 組 織: 観光振興課
	根拠法令 ・計画等		成 職・氏名: 主事 釣谷 俊介 者 電話番号: 076 - 225 - 1539 内線 3921

1 事業目的

インターネットを活用した宿泊予約が増加している状況(2010年:48.7%)を踏まえ、引き続き、個人客をターゲットとした効果的な発信により、誘客促進を図るとともに今年度末の北陸新幹線金沢開業を迎えるにあたり、特に開業直前時期の首都圏からの旅行控えが予測されていることから、首都圏に対する取り組みに加え、特に関西・中京圏からの旅行需要の一層の喚起を図ることが重要。

2 事業内容

(1) 大手旅行予約サイトを活用した効果的な情報発信

これまでのエリア(加賀・白山・金沢・能登)を限定した情報発信を改め、各季節に合ったテーマ(温泉、食、景観等)を設定し、観光関係団体等と連携し、県内全域の観光情報を発信することで、効果的な誘客促進を図る。

<テーマ> 夏:家族旅行(景観・自然、伝統工芸品創作体験等)、秋:温泉、冬:食

(2) 大手福利厚生代行会社とタイアップした、会員へのダイレクトな情報発信

→送客効果の高い1社において期間を延長したプロモーションを実施するとともに、新たに駆け込み旅行需要期を狙ったプロモーションを展開し、宿泊予約の増加を図る。

①会員向専用HPやメールマガジン、会報誌を活用した情報発信

②駆け込み旅行需要期(1~3月)におけるチラシの配布

※福利厚生代行会社・・・宿泊・レジャー等の余暇支援サービスなどを、民間企業や官公庁一括契約(代行)し、契約企業の社員に割安な会員価格で提供する企業

3 県負担金

6,000千円

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価
課題	効果的な情報発信					
指標	観光地の入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
54,886	41,033	40,003	39,415	39,564		
事業費						
(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費 予算			6,000	6,000	6,000	
事業費 決算			6,000	6,000	6,000	
一般 予算			6,000	6,000	6,000	
財源 決算			6,000	6,000	6,000	
事業費累計			6,000	12,000	18,000	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
今後の方向性						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 関西・中京圏誘客促進事業	事業開始年度	H26	事業終了予定年度		作 組 織 観光振興課
	根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン			成 職・氏名 主事 中島 光裕 者 電話番号 076 - 225 - 1539 内線 3922

1 目的

新幹線開業年に達成を目標としている「3大都市圏誘客1,000万人構想」の実現には、新幹線開業に伴う首都圏からの誘客倍増に加え、これまでに大きな割合を占めている関西・中京圏からの誘客の確保及び底上げが必要不可欠である。特に平成26年度には首都圏からの開業前の出控えが予想されることから、関西・中京圏を中心とした様々な誘客強化策を展開し、出控えの影響を最小限に抑える必要がある。

2 事業内容

(1) 大手百貨店会報誌を活用した誘客対策

関西・中京圏を中心に展開する老舗大手百貨店「大丸」「松坂屋」のカード会員に対し、会報誌を用いてダイレクトに観光情報の提供を行うことにより、本県への誘客に繋げる。

- 【時期】平成26年 秋(11月頃)
- 【内容】・本県の観光情報の掲載

(2) 大手百貨店観光PRイベントを活用した誘客対策

大阪の新名所「あべのハルカス」内にある大手百貨店「近鉄百貨店あべのハルカス本店」のイベントスペースにて観光PRイベントを実施し、本県の観光情報を発信する。

- 【時期】平成27年 1～2月頃
- 【内容】・本県観光情報のPR
・伝統工芸の無料体験
・ノベルティの配布

3 県負担金

3,000千円

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	
課題	効果的な情報発信						
	指標	三大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	10,000	7,268	6,969	6,832	7,017		
事業費							
	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	予算					3,000	
	決算						
一般財源	予算					3,000	
	決算						
事業費累計				0	0	3,000	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性							
今後の方向性							